

# 「雑談・独り言」 栃木のプロスポーツを応援しています

## リンク栃木ブルックス

プロバスケットチーム「リンク栃木ブルックス」のスポンサーになりました。スポンサーもピンからキリまで(「最上から最低まで」)ありますが、弊社はキリのスポンサーであります。

きっかけは栃木県経済同友会の地域活性化支援実行委員会主催の観戦ツアーに参加して観戦。プロバスケットの魅力に取りつかれました。試合開始前のスペシャルゲストによるオープニングショー、選手のウォームアップ、チアリーダーの様々なジャンルのダンスと共に観客と一体になった応援。試合もスピード溢れるプレーに会場が一つになつて盛り上がる。まさにバスケットボールはエキサイトさせてくれる格闘技である。エースプレーヤーの田臥勇太がプレーも素晴らしいし恰好良い。今シーズンの成績もリーグ2位と好調。栃木を盛り上げ地域密着型のチーム、プロスポーツが身近にあり観戦できるところが素晴らしい。

是非観戦に行かれた時は弊社の小さな「コマ」シャル看板を見つけてください。「リンク栃木ブルックス」の他にもプロチーム「栃木SC」サッカー「栃木日光アイスパックス」アイスホッケー「宇都宮ブリッツェン」自転車とあります。現在ブルックス以外はスポンサーでは

# アクティチャレンジ新聞



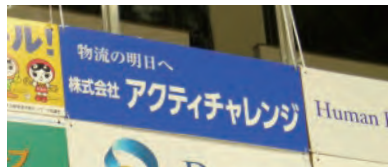
発行元：アクティチャレンジ  
編集：中村 悟志  
青木 伸郎  
小田 望月  
沢田聖恵子

お問い合わせ  
info@acty-challenge.com

ISO 9001 認証取得事業所



ありませんが、地元栃木のプロチームを応援しています。



## 社内提案制度

「社内提案制度」を始めました。主旨は社内環境や仕事方法、仕事の進め方、人事制度、福利厚生、売上・利益向上など社内の活性化、社員満足度の向上を実現するため、現場を良く知っ

ている社員皆さんの考え、意見を取り入れる。

具体的には「社内提案制度」は自分達で考え、アイデアを出す。仕事の改善につながり、また、売上げにつながるもので、改善提案は「ここが悪い」という意見ではなく「こういう風に改善すれば、こう良くなる」というポジティブな提案を皆さんにお願いしたい。「改善提案」を提出した社員には1件500円、優れた提案には内容に応じた万単位の報奨金を支給します。

「社内提案制度」の第一号は女性下ライバーの大塚菜莉奈さんでした。提案内容は洗車場のスペースの確保と洗車に関する提案でした。早速、現場を見て関連部署に指示し改善致しました。意外と気づかない部分でした。積極的に大変貴重な「提案」を出して今後さらに数多くの「提案」を出して頂き全社員で手作りの「社員満足度100%」の会社を目指したい。



代表取締役社長 中村 雄三

http://www.acty-challenge.com/

株式会社 アクティチャレンジ  
物流の明日へ。  
Tomorrow of distribution

本社 〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田6丁目6番21号 TEL028-680-6411 (24時間年中無休)

配送センター 〒321-0112 栃木県宇都宮市屋敷町656番3 TEL028-666-0501

整備工場 〒321-0112 栃木県宇都宮市屋敷町700番4 TEL028-656-4342

事業内容 商品・回収品の輸送・配送運搬、ルート便、貸切便、チャーター便、トラックレンタカー他 サポートエリア 関東(栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、東京都、千葉県)または関東近県をはじめ、日本全国へ展開中



# イベント出展

他の紙面でも掲載しておりますが、ゴールデンウィークの5月2日〜6日までツインリンクもてぎの働くクルマ大集合に弊社の冷凍車を展示しております。また時間を区切って氷点下の冷凍車庫内を来場者に体験していただきました。こちらでは今回の出展で私を感じたことを書かせていただきます。

最初に感じたことは、ツインリンクもてぎのスタッフの臨機応変な対応の良さです。弊社の準備不足などもありましてイレギュラーなどが何度か起こりましたが、スタッフは場数をこなしているのか、すぐに最善と思われる方法で対応してくださいました。それは出展者に対してだけではなく、もちろん来場者に対しても丁寧な対応をしている場面を見ることが出来ました。おかげで弊社の展示は大きなトラブルもなく終えることが出来ました。ツインリンクもてぎのスタッフの方も冷凍車にお客様を誘導までして頂きました。とてもサービス業としては参考になりました。

そして今年、スタッフを弊社の社員3名体勢で行ったのですが、各々予定がある中で都合をつけて来て参加してくれました。不慣れなイベントスタッフを楽しんでやってくれた事がとてもうれしく思いました。反面私の準備や段取り不足も痛感し、もっと企画段階で多くの社員を巻き込んで頼っていたらよかった



と感じました。スタッフとして参加してくれた社員の見えていなかった長所を見ることが出来ました。

また、弊社としては初めてのノベルティグッズを作成しました。働くクルマ大集合では小さなお子様が多く来場されるので、お子様向けに弊社のトラックをデザインしたペーパークラフトを作りました。初めてのノベルティグッズでしたので、社内で盛り上がりすぎて自画自賛してしまいました。あまり大々的に告知していなかったにも関わらず、来場して下さった方々や、ツインリンクもてぎのスタッフ、イベントに参加してくれた社員に感謝いたします。冷凍車体験をして下さった方々には物流の役割が少しも伝わっていれば業界としても少しは貢献できたのかなと思います。また来年もチャンスがあれば皆で面白い企画などもしていきたいと思えます。

専務取締役 中村 悟志

## 整備工場ニュース

### ドライブレコーダーの目的って知ってますか！

今、ドライブレコーダーを取り付けている方が増えていますが、何の目的でつけているかわかりますか？

- 1 車外の様子を録画しているので自分がどんな運転をしているか分かる。又録音もされているので、安全運転の意識向上に繋がる。
- 2 万が一 事故、トラブルに遭われたときの証拠画像となる。  
(特に周りに目撃者がいない状況で、相手が悪いのに強気に出られたらどうでしょう?)
- 3 車外の景色が保存できるのでドライブの後見返すといいい記念になるかも？



取付けは、運転の際 視界を妨げないこと、取り付けた時にガラス上部より20%の長さに入っていればOKです。もし不安であればアクティ整備工場へお問合せください。

整備部業務部長 松橋 寿夫

# STAFF

スタッフの時事ニュースを盛り沢山紹介します!!



**松尾 義孝** (車輛整備部)  
7 月 27 日 生まれ O 型

青森県の五戸町から栃木県に来て 7 年目になります。家族は長女 19 歳、長男 17 歳、次女 7 歳の 3 人の子供がいて騒がしくも楽しい日々を送っています。今は、ぬか漬けをしていて味付け苦戦しています。会社には昨年 7 月に入社し、もうすぐ 1 年が経とうとしています。車輛整備部のスタッフと協力しながら、車輛の安全と会社の発展に貢献したいと思っています!

## うそのようなホントの話 其の十四



1964 年から NHK で放送され、ほぼ半世紀を経た現在も根強い人気を誇る人形劇『ひよっこりひよたん島』。ドン・ガバチョやトフヒゲなど個性派キャラクターが多く、再放送や CM に使われるなど最近でも露出が多い。実は、あの物語は、サンデー先生と 5 人の子供たちがひよたん島へ遠足に行き、火山の噴火で全員死んでしまった後の物語なのだという。作者の井上ひさし氏が後年に明かした。井上氏は、「大人たちに絶望した子供たちのユートピア」としてひよたん島を設定。死んだ子供たちの世界として描くことにより、食糧問題も発生せず、子供たちが親や大人たちに絶望したうえででもつ明るさ、死んだ人間のもつ明るさを描きたかったのだという。井上氏、共作者の山元護久氏、担当ディレクターの武井博氏の 3 人とも、家庭の事情で親に頼らずに育ったことが、その背景にあるとのことだ。

## 私の趣味 〜米作りの話〜

私にはこれといった趣味がないので、趣味になりつつある米作りの話をします。

嫁の実家は農家で米作りをしています。私は、嫁との付き合いが長く 10 年位前から手伝いをさせて頂いています。

初めは正直言うとう面倒だなと思いつつやっていたが、年を取っていくうちに米作りに対する気持ちが変わっていく自分がありました。作業をしている時に義理のお父さんに気になった事を質問したりしているうちに興味がわいてきて、今は積極的に作業するようになりました。9 月頃には収穫するのでとても楽しみです。是非皆さんも美味しい栃木米を食べて下さい。

貸切事業部主任 谷口 雅一



## 産業医 ニュース

産業医健康指導より

産業医の廣瀬医院長による健康指導 4 月は、これから心配される熱中症についての指導でした。地球温暖化が進んでおり、1993 年シカゴ熱波による熱中症で約 1000 人が死亡、2003 年ヨーロッパ熱波では 52000 人以上が死亡、日本でも 2010 年に熱波により 54000 人近くが搬送され、1740 人死亡した事例があります。又、日本では企業内で熱中症が発症した場合、労働基準局より再発防止策を求められる事があります。熱中症とは、暑熱環境下において体温の異常な上昇、異常な発汗(または汗が出なくなる)等、身体適応の障害によっておこる状態です。

主な熱中症の症状は重症度分類され、1 度：フラフラめまい、立ちくらみ、足つり等(軽症) 日陰で休む。水分補給。衣服を緩め濡れタオルをかけ、扇風機を当てたりして体を冷やす。2 度：頭痛、吐き気、嘔吐、だるさ等(中等症) 病院にかかり補液を受ける必要あり。3 度：意識障害(重症) 救急車で救命医療を行う医療施設に搬送し入院治療の必要がある。日常の予防法は、熱に慣らす、ナトリウムを含んだ水分、梅干し等塩分の補給が必要です。熱中症にかかる 65 歳以上の高齢者の 80% は、28 度以上の部屋で発症しているというデータがあります。エアコンを上手く使用して、気を付けて頂きたいです。

貸切事業部 沢田 聖恵子

アクティチャレンジの制服が変わります!



引き続きどうぞ 宜しく願い致します!